

令和4年第3回(9月)
粕屋町議会定例会

町長所信表明



粕 屋 町

1. はじめに

令和4年第3回粕屋町議会定例会の開催中にも関わらず、町政運営に関する所信を申し上げる機会をいただき、誠にありがとうございます。

私は、このたびの粕屋町長選挙において、無投票当選での再任を頂き、引き続き2期目の町政運営を担わせていただくこととなりました。これまでの1期4年間の取り組みに対し、ご評価いただいたことを大変光栄に感じるとともに、改めて、その大変な重責に身の引き締まる思いでございます。これからの4年間、町民の皆様の信頼と期待にしっかりお応えできるよう決意を新たにし、よりよい「かすや」の未来を目指して、町長としての職務を遂行してまいります。

2. 町政運営に関する所信

それでは、公約に沿って、2期目4年間の町政運営に向けて所信を申し上げます。

子育てしやすいまちづくり

1つ目は、「子育てしやすいまちづくり」です。

現在、「かすやこども館」に子ども家庭総合支援拠点を設置し、子育てに関する様々な相談や支援を行っています。妊娠・出産・育児への不安や

負担、孤立感など、悩みを抱える家庭に対する支援の充実に向け、「第2子ども館」の建設を検討し、妊娠期から子育て期にわたる総合支援体制を強化します。また、今後の就学前人口の推移や地域バランスを十分考慮し、これまで公立が担ってきた役割を維持しながら、町立保育所・幼稚園の再編整備を進めます。子どもたちが放課後や休みの日に、安全・安心に楽しく過ごせる学童保育所の拡充を行います。

安心して子どもを産み、育てることができるよう、地域全体で子どもを育てていく、子育て応援都市「かすや」を目指します。

住みやすいまちづくり

2つ目は、「住みやすいまちづくり」です。

JR 駅を拠点とした駅及び周辺整備を行い、にぎわいと都市機能の充実を図ります。ふれあいバスの再構築を行い、多様なニーズにきめ細やかに対応することができるコミュニティバス化の検討に入ります。感染防止対策に十分配慮した上で、安全・安心に開催できるよう、With コロナ時代に対応するイベントの復活を支援します。

いにしえより受け継いだ交通基盤・都市機能を活かして、住みたくなる、暮らし続けたいまち「かすや」を目指します。

誇れるまちづくり

3つ目は、「誇れるまちづくり」です。

町のランドマークである駕与丁公園に、これまで以上の賑わいを創出することを目的として、新たに飲食物販施設を設置するなど、公園のもつポテンシャルをより一層活かすことができるよう魅力増強に取り組みます。

本町が今後とも持続的に発展していくためには、質の高い雇用の創出や民間企業による投資を呼び込むことが重要です。九大農場跡地の開発や、企業立地・住宅開発を戦略的に展開していきます。「ゼロカーボンシティかすや」に向けて取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。

安心して生活できるまちづくり

4つ目は、「安心して生活できるまちづくり」です。

全町を挙げた防災訓練を実施し、自主防災の多様な担い手のネットワーク化など、自主防災組織の進化と強化に取り組みます。近年多発する豪雨による洪水氾濫に備えるため、河川の治水対策を推進します。また、ロシアのウクライナへの侵攻や急速に進んだ円安等による、長引く物価高における生活者や事業者への支援を行います。

地域住民や地域の多様な主体が参画し、世代や分野を超えつながるこ

とで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現を目指します。

市制への環境整備

本町の令和4年8月末時点の住民基本台帳人口は4万8,892人となり、人口5万人が次第に迫ってまいりました。これまでは「市制塾」を設置し、市制に係る事項の調査研究を進めてまいりましたが、今後は町民の皆様に様々な形で情報提供を行い、住民意識調査、意見交換会などを段階的に進め、町全体の機運を高めてまいりたいと考えております。

以上のことを2期目の目標として掲げ、更なる「かすや」の発展のため、全職員一丸となってチャレンジし、イノベーション^{※1}に挑戦してまいります。

※1 イノベーション:それまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすこと。

3. 結びに

以上、所信の一端を述べさせていただきましたが、このたびの新型コロナウイルス感染症を契機として、新しい生活様式の導入など、これまでの価値観や生活観にも大きな変化が生じております。こうした社会が大きく変化する時代において、私は、町政運営を担う責任者として、ポストコロナのレジリエント^{※2}なまちづくりを進め、町民の Well-Being^{※3}(幸福感)を高めながら、「かすや」をさらに発展させ、未来世代に自信と誇りを持って引き継いでいきます。

おわりに、議員各位並びに町民の皆様のあたたかいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、所信表明とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

令和4年9月9日

粕屋町長 箱田 彰

※2 レジリエント:災害やパンデミック、不況などの逆境を柔軟に受け止め、跳ね返す力を持ち、強靱な体制を構築して成長し続けること。

※3 Well-Being(ウェルビーイング):幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態をいう。